



# 学校だより

令和4年6月1日  
北区立稲田小学校  
校長 吉田 友信

## 「チーム一枚岩『稲田小』」の運動会から未来へ

校長 吉田 友信

令和4年度の本校の合言葉を「チーム一枚岩『稲田小』」と設定し、4月から職員会議、全体保護者会、全校朝会、学校だより等を通じて、教職員、保護者、児童、地域の皆様に思いを発信し続けてきています。そのことが、形となって現れていると感じる瞬間が徐々にではありますが、増えてきています。

特に、5月28日（土）に開催した運動会に向けての取組で顕著になったことが多くありました。例えば、教職員は昨年度出た反省やコロナ・熱中症対策を踏まえた演技・競技の在り方や内容等を熱心に協議しました。必ずしも満場一致とならない場合もそれぞれの考えを出し合い、児童の成長と安全のためにどちらがよいか練り直しながら、決定に漕ぎ着けました。

児童は演技（表現）や選抜リレー、6年鼓笛の練習や5・6年係活動の取組において、「誰一人取り残さない。」という姿勢で、仲間同士が声を掛け合ったり、教え・励まし合ったりしながら完成度を高めていきました。練習でなかなかうまくいかなかった部分も、本番では息ぴったりの最高の演技・競技を来場された皆様に披露することができました。

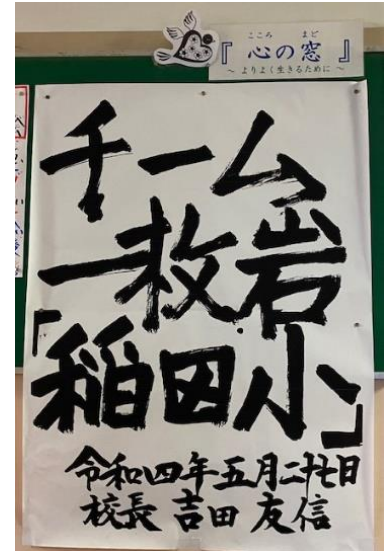
保護者の皆様はこれまで、学校からの数々のお願いに対して、実に協力的で稲田っ子や学校を支えてくださいました。保護者の代表であるPTAや親児の会の皆様は、事前準備、当日、事後片付けで学校の手が届かないところを力強く支えていただきました。

地域を代表する学校評議員の皆様は、長時間にわたりご観覧いただき、稲田っ子や運動会全体についてお褒めの言葉をいただくことができました。大変ありがたいことです。

この他にも、令和6年4月に開校する施設一体型義務教育学校「（仮称）北区立都の北学園」の準備として、神谷中3年生によるボランティア参加がありました。生徒は児童召集やリレー補助、受付や保護者誘導など、小学生には優しく、保護者には責任のある言動で接することができ、大変立派でした。1週間後の6月4日（土）には、神谷小と本校5・6年生が神谷中学校運動会の開会式や表現等に参加し、連携を深める予定です。

以上のように、今回の運動会ではそれぞれの職や立場ごとに横のつながりを意識し、「チーム一枚岩『稲田小』」として、結束力を高めることができたように思います。さらに学校全体で見たとき、その強固な横のつながりが幾重にも折り重なり、縦のつながりへと連動した「チーム一枚岩『稲田小』」の運動会を実現することができたと考えます。

今後もそれぞれの教育活動において、合言葉「チーム一枚岩『稲田小』」を発信し続け、意識の高揚を図ってまいります。児童自身や児童を取り巻く重要な環境である我々が、相互に認め・尊重し合い、横と縦のつながりを明確に意識することにより、よりよい学習環境の創造が実現できると考えるからです。この継続により、円滑な「（仮称）都の北学園」の開校を推進する強大な原動力につなげることができるという信念があります。



### 今月の目標

生活指導：健康・安全に気を付けましょう。  
給食指導：衛生に気を付けて食事をしましょう。  
保健指導：歯を大切にしましょう。  
つゆどきの健康に気を付けましょう。

